

**SDGs 6割以上が行動中!**

マイバッグを持つもくじよつせい  
17つの目標達成のため、  
あなたや家族は何か取り組みをしている?

していない 33.8%

している 66.2%

ごみを分別

ペットボトル あきかん もふふ

子ども新聞で世界を知る

山陽子ども記者ネットワーク 会員アンケート

「SDGs」は、「SDGs」は、持続可能な開発目標。環境や気候変動など、未来の地球を守るために、世界中の人々が協力して取り組む課題として、2030年までに実現しようとしている。多くの国、企業、団体、個人が、さまざまな形で行動している。

「山陽新聞は7月15・30日、「山陽子ども記者ネットワーク」の会員（小学生から大学生までの約800人）に、毎年恒例の「SDGs」に対する意識調査を行った。アンケートには、インターネットを通してアンケートを行ってもらえた。

回答した71人のうち、目標達成のために何を取り組みをしているといふ人は66.2%。「マイバッグを持つ」（岡山市、中2）、「ごみを分別」（岡山市、高1）、「リサイクル製品を使つ」（岡山市、小1）など、実際に取り組める内容を挙げた人が多い。一方で、世界について知っている人は少なかった（学校で地図をしないこと、岡山市、小5）。「差別について調べて勉強する」（岡山市、小1）など、なぜや気持ちは部分が多かった。

読者の多くは、「SDGsのために何か取り組んでいたことがある」と答えた。地元の未来について考えてみましょう。（矢野美紀子）

# わたしにできること

美作市・美作第一小2年

村山 日向子

SDGsってなんだろう。  
このまじの見出しがはじめて  
見たとき、読み方もどういう  
いみなのかも分かりませんで  
した。お母さんに聞いて、エ  
スディージーズと読んで、み  
来の地きゅうのためのたつせ  
い目ひょうということを知り  
ました。そして、  
「夏休みにいつしょにしたエ  
コチャレンジもその一つだ  
よ。」  
と、教えてくれました。  
わたしは夏休みに家をくで  
エコチャレンジにちょうどせん  
しました。ゴミの分べつをし  
たり、エコバッグをつかつた  
たり、エコバッグをつかつた

り、お出かけのときは水三つを  
もって行きました。自分の家から  
うどのくらいの「ミニ」が出ている  
のかしらべたとき、思っていた  
より「ミニ」が多く、かなしくなり  
ました。むづやつたら「ミニ」をへ  
らせるのか家ぞくで考えたり、  
図書かんでしらべました。この  
ちょうどせんをして、3Rや地  
ゆうおんだんかについて知りま  
した。

夏休み明けに「のきじ」を読んで、わたしもSDGsのひとりとり組めていたことに気がつき、うれしくなりました。そして、SDGsのアイデアがこんなにあること、わたしと同じような子どもたちがいろんなことを考えていることを知りました。新聞を読むことで自分では思いつかなかつた考えを知ることができました。

「目ひょうたつせりにはやる」とがたくさんあるけれど、ひとつでも多くであることをしていきたいです。わたし一人の力は小さいけれど、SDGsについて、たくさん子どもたちが考えているから、小さくともたくさんの方を合わせれば、たっせいする目ひょうがふえると思います。わたしが大人になつたときも、それよりもっとみ来もみんながえ顔でくらしやすい地きゅうにしていきたいです。